

C I M

## 14～15年度に基準策定

### 国交省 10日には制度検討会も発足

国土交通省は、情報通信技術を活用して建設事業全体の生産性向上を目指すCIM（コンストラクション・インフォメーション・モデリング）の一般化に向け、14～15年度に各種の基準類を策定する。既に日本建設情報センターや関連業界団体などで組織する技術検討会が開始。10日には

国交省を中心に産官学でつくる制度検討会が初会合を開き、CIMの導入環境を早急に整備する。来年2月ごろにまとめる次期情報化施工推進戦略でもCIMが柱の一つになる見通しで、トータルステーション（TS）出来形管理技術などに必要な情報を有する3次元モデルを情報化施工に積極的に活用していく方針だ。CIMの導入検討に向け、国交省は技術検討会の取り組み状況などを踏まえ、同省で導入するCIMの具体的イメージ（先導・一般モデル事業）を本年下半期に明確化する。下期から試行を予定している直轄事業での先導・一般モデル（設計段階）のほか、実用化に向けた技術開発項目の検討、基準類の見直しなども実施。13年度には工事段階に移行した先導・一般モデルのフォローアップを行い、各種検討成果を取りまとめる。CIMを建設事業に導入することで、▽情報の有効活用（設計の可視化）▽設計の最適化（整合性の確保）▽施工の効率化・高度化（情報化施工）▽維持管理の効率化・高度化などを推進していく。

#### 【建設ICT】

- |          |          |          |
|----------|----------|----------|
| 1. 日経    | 2. 朝日    | 3. 毎日    |
| 4. 読売    | 5. 岐阜    | 6. 中伊    |
| 7. 産経    | 8. 静岡    | 9. 伊勢    |
| 10. 中部経済 | 11. 建通   | 12. 日刊工業 |
| 13. 建設通信 | 14. 信濃毎日 | 15. 日本海事 |
| 16. 建設工業 |          |          |